

公益財団法人日本美術刀剣保存協会 令和6（二〇二四）年度事業報告及び決算報告

I 事業の実施状況

1. 博物館事業

(1) 展示事業

令和6年度刀剣博物館の展示活動及び入館者数は26ページ表1の通りです。

(2) 鑑賞会事業

定例鑑賞会

定例鑑賞会は8月及び12月を除く毎月第2土曜日の午後に刀剣博物館講堂において開催し、鑑賞会には開催日平均50名の出席がありました。また、定例鑑賞会にあわせて、平成24年9月から刀剣を手にとって鑑賞したことがない初心者の方向けの刀剣の扱い方、鑑賞の方法を学ぶための「日本刀鑑賞マナー講座」を予約制で開催、修了した方には修了証を発行し、令和6年度は143名の参加者がありました。

その他協力団体が公益事業として開催する鑑賞会に、依頼により鑑定刀の貸与及び講師の派遣を行いました。令和6年度は73件の依頼があり、刀剣類5点を貸与し、鑑賞の指導を講師（当協会学芸員）が行いました。協力団体開催の鑑賞会の出席者は平均22名でした。

(3) 作品発表会（現代刀職展）

2024年度現代刀職展を開催しました。この展示は、現代作家の作品発表の場の提供及び多くの方に技倆の高さをアピールすることを目的としており、令和6年8月10日（土）～10月14日（月・祝）までの開催期間で、11,610名のお客様にご来場いただきました。

(4) 古伝書等の公開

当協会収蔵の古伝書、一般刀剣関係書籍等を月曜日から金曜日の10時から16時（12時～13時を除く）まで事前予約制で一般の利用に供しました。入室、閲覧は無料とし、コピーサービス（有料）も提供しました。令和6年度は17件の利用がありました。

(5) 刀剣相談

当協会に来館、または書面、電話での刀剣等に関するあらゆる相談を受け付け、刀剣類の文化財としての位置づけを認識していただくとともに、刀剣類の手入れ方法や保存方法についても助言いたしました。また銃砲刀剣類所持等取締法に基づく所轄警察署への届出等、関係法令の周知徹底を図り、各都道府県教育委員会への登録申請の相談も受け登録業務に協力いたしました。

(6) 広報誌の発行

令和6年度は広報誌『刀剣美術』を87号から88号まで発行いたしました。当協会の編集委員及び編集担当職員が毎月編集委員会を開催して内容を検討し、投稿された刀剣関係の論文、随想、資料紹介等の掲載の他、鑑賞会の報告及び当協会や刀剣界の情報発信源として、また刀剣類の知識の向上を目的として会員の皆様への配布のみならず、刀剣博物館においても一般に販売いたしました。

(7) ホームページ活用

『刀剣美術』誌と共に、当協会や刀剣界の情報発信源として活用しているほか、刀剣の知識が学べるコンテンツを掲載しています。

また、『刀剣美術』誌の一部記事を英訳してホームページから見ることで、海外の研究者、愛刀家等の要望にも応えています。引き続き会員の皆様をはじめとしたお客様に分かりやすい情報発信に努め、お客様とのコミュニケーションツールとして運用してまいります。

2. 教育、講習事業

(1) 刀職技能訓練講習会

刀職者の技能向上とその普及を目的として、主として西日本エリアを対象として行っているこの講習会は、広報誌『刀剣美術』、当協会ホームページで研修生を募集し、令和6年度で38回を数え、備前長船刀剣博物

館において令和6年6月26日(水)から29日(土)の4日間開催いたしました。講習部門は「柄下地の部」と「刀装金具の部」の2部門で、「柄下地の部」は柄巻師の無鑑査認定者の講師により「柄下地の基礎技法」を講習テーマとして実施し、受講者は3名でした。「刀装金具の部」は彫金師の無鑑査認定者の講師により「透鐔の制作(象嵌)」を講習テーマとして実施し、受講者は10名でした。また、閉講式において受講生に対し受講証書を交付いたしました。

(2) 第57回刀剣研磨・外装技術研修会並びに第51回鍛冶研ぎ研修会

刀職者の技術の向上とその普及を目的とするこの研修会は、広報誌『刀剣美術』、当協会ホームページで研修生を募集し、当協会講堂において令和6年7月22日(月)から27日(土)までの6日間開催いたしました。

研修部門は「研磨の部」「鍛冶研ぎの部」(前半3日間)及び外装の部として「白鞘の部」「柄前の部」「白銀の部」(後半3日間)であり、「研磨の部」は研師の無鑑査認定者の講師により、「下地研ぎ」を研修テーマとして実施し、特別研修生1名、研修生2名、聴講生8名の参加がありました。「鍛冶研ぎの部」は刀匠の無鑑査認定者の講師により、「鍛冶研ぎの基礎技法」を研修テーマとして実施し、聴講生2名の参加がありました。「白鞘の部」は鞘師の講師により、「掻き入れから糊付けまでの基礎技法」を研修テーマとして実施し、特別研修生1名、研修生2名、聴講生3名の参加がありました。「柄前の部」は柄巻師の無鑑査認定者の講師により、「蛇腹巻の基礎技法」を研修テーマとして実施し、研修生1名、聴講生3名の参加がありました。「白銀の部」は鍔師の無鑑査認定者の講師により、「鍔制作の基礎技法」を研修テーマとして実施し、聴講生6名の参加がありました。3年間の研修修了者は、「研磨の部」の研修生1名、「白鞘の部」の特別研修生1名及び研修生1名、「柄前の部」の研修生1名がおり、修了証書を交付し、その他特別研修生、研修生、聴講生にはそれぞれ特別研修証書、研修証書、聴講証書を交付いたしました。

(3) 第42回作刀技術実地研修会

この研修会は、文化庁の作刀承認を得ること及び若手刀匠の技術向上を

目的として、広報誌『刀剣美術』、当協会ホームページで研修生を募集し、令和6年9月25日(水)から28日(土)の4日間、島根県の日刀保日本刀鍛錬道場において開催しました。

本研修会は3年で修了となるカリキュラムで行っていますが、今回は第15期の1年目にあたり「鍛錬」をテーマとして刀匠の無鑑査認定者の講師により実施し、研修生4名、聴講生6名の参加がありました。この研修では近年のサブテーマである「各種玉鋼の効果的使用法」の研修も行いました。

3. コンクール事業

(1) 2024年度現代刀職展

現代作家の技術の向上及び普及を目的に、新作名刀展及び刀剣研磨・外装技術発表会を改組、新たに現代刀職展とした作刀の部、刀身彫の部、彫金の部、研磨の部及び外装の部として白鞘の部、刀装の部、柄前の部、白銀の部の8部門について広報誌『刀剣美術』、協会ホームページで公募し、作刀の部は令和6年4月1日(月)から3日(水)の間受け付け、令和6年4月11日(木)に審査会を開催し、また、研磨の部、刀身彫の部、彫金の部、白鞘の部、刀装の部、柄前の部及び白銀の部は令和6年6月3日(月)から5日(水)の間受け付けし、令和6年6月13日(木)及び14日(金)に審査会を開催しました。無鑑査による出品は、作刀の部9点、研磨の部8点、彫金の部1点、柄前の部1点、白銀の部1点の合計20点でした。

令和6年8月9日(金)午後1時30分から第一ホテル両国5階清澄において表彰式を執り行い、入賞者に賞金、賞状及び副賞をそれぞれ交付しました。また、各部門について審査員の代表が審査員講評を行いました。展示は、令和6年8月10日(土)から10月14日(月・祝)まで刀剣博物館にて行いました。

全部門の受付点数、審査結果は26ページ表2のとおりです。

4. 検定・資料収集事業

(1) 刀剣類の保存・特別保存審査

4月、7月、10月と1月を除き、毎月保存・特別保存刀剣等の審査を実施し、刀剣は6月からの3か月毎に、刀装・刀装具は5月からの3か月毎に該当月の指定した3日間で受け付けました。受付点数に応じて審査会を複数回設け、審査は理事会の決議を経て会長が指名または委嘱した審査員により、審査規程に則り厳正に審査を行い、合格したものには鑑定書を発行しました。

なお、今年度の受付点数、合格点数は次のとおりです。

区分		受付点数	合格点数
保存	刀剣	6,297	4,275
	刀装	322	187
	刀装具	2,967	1,891
	特別保存	3,112	1,961
特別保存	刀装	157	87
	刀装具	923	692

(2) 刀剣類の重要・特別重要審査

第28回特別重要刀剣等審査は、4月1日(月)～3日(水)の3日間で行付けいたしました。審査は理事会の決議を経て会長が指名または委嘱した審査員により、審査規程に則り厳正に第1次及び第2次審査を行いました。また、6月29日(土)から7月28日(日)まで刀剣博物館において指定品の展示を行い、指定品の指定書及び指定品を纏めた図譜を頒布いたしました。

第70回重要刀剣等審査は10月1日(火)～3日(木)の3日間で行付けいたしました。審査は理事会の議を経て会長が指名または委嘱した審査員により、審査規程に則り厳正に第1次及び第2次審査を行いました。また、指定品の展示は令和7年1月11日(土)から2月24日(月・祝)まで刀剣博物館において行いました。指定品の指定書及び指定品を纏めた図譜を現在作成中です。

なお、受付点数、合格点は次のとおりです。

区分

受付点数

合格点数

第28回特別重要	刀剣	320	21
	刀装	13	2
	刀装具	39	3
	刀装	32	6
第70回重要	刀装具	198	33
	刀装	32	6

(3) 資料収集

保存・特別保存・重要・特別重要各審査の合格物件すべての調査を作成し、写真もしくは押形と共に保管し、データベースで管理しました。また過去の合格物件も順次データ化を進めております。また、全国の重要文化財等を所蔵する施設に職員を派遣し、刀剣押形等の貴重な資料の収集を行い、収集した資料を広報誌『刀剣美術』にて公開しました。

5. 資格付与事業

(1) 無鑑査の選任

今年度末現在、無鑑査認定者は作刀の部が16名、彫金の部が1名、研磨の部が16名、外装の部が9名です。

(2) 伝位授与

伝位審議会を6月、9月、12月及び令和7年3月の4回開催し、初伝位4名、中伝位6名の合計10名の合格を認めるとともに、理事会等の決定により、それぞれ伝位証書を授与しました。

(3) 刀剣等指導員・刀剣等指導補助員登録

刀剣等指導員登録の申請が5名より提出され、いずれも刀剣等指導員規程第2条の資格を有しているため証明書が発行されました。刀剣等指導員の資格要件に中伝位以上を授与された者と規定されていることから、伝位授与と連動して刀剣文化の普及に活躍する人材を育てることを目的としています。

なお、今年度刀剣等指導補助員の申請はありませんでした。

6. たたら製鉄事業

たたら操業を令和7年1月22日(水)から2月8日(土)まで3代実施しました。これに先立ち、操業開始前の準備として数日前より釜土の混練や本床への火入れなどを行いました。炉床の状態を整え、本操業に臨み、伝統技術の保存・伝承に努めました。

操業自体は下準備から始まり、釜作り・3昼夜操業・釜壊しを1単位つまり1代と数え、釜作り以降の作業を行い、約2.5トンの鋸を生産しました。火入れ式では島根県丸山達也知事からお言葉を頂戴し、また砂鉄挿入を行っていただきました。

また操業終了後からは、生産された鋸を破砕し翌年度以降の玉鋼配布準備のため各等級毎に選別する作業を行いました。

操業期間外では、日刀保たたら村下の指導のもと、ほぼ通年で以下の作業を行っています。①たたら炭の生産(約36トン)、②粘土の選別と確保、③注文に応じての玉鋼発送作業、④その他適宜発生する業務。さらに、生産された玉鋼について全国の刀匠に頒布の文書を郵送しました。

7. 刀剣文化振興の助成事業

当協会の協力団体は3月末日現在国内に81団体、海外に5団体設立されており、全国及び海外の刀剣普及活動の拠点となっています。

〈国内81団体〉

日刀保根室支部 日刀保帯広支部 日刀保札幌支部 日刀保旭川支部
日刀保青森支部 日刀保八戸支部 日刀保岩手支部
日刀保秋田支部 日刀保庄内支部 日刀保山形支部 日刀保米沢支部
宮城県美術刀剣保存協会 日刀保会津支部 日刀保福島県南支部
日刀保いわき支部 日刀保福島支部 新誠会 日刀保高崎支部
日刀保茨城県支部 土浦亀城刀剣会 日刀保栃木支部
埼玉県刀剣保存協議会 日刀保千葉県東支部 日刀保千葉県支部
日刀保東京都支部 日刀保東京多摩支部 日刀保横浜支部 鎌倉刀剣会
日刀保湘南支部 日刀保山梨県支部 日刀保新潟支部 日刀保長岡支部

日刀保富山県支部 越前愛刀会 日刀保石川県支部 日刀保若狭支部

日刀保福井支部 日刀保長野県南支部 日刀保長野県北支部

日刀保長野県東信支部 日刀保静岡岡支部 日刀保静岡岡東支部

日刀保三河支部 日刀保名古屋支部 日刀保岐阜県支部

日刀保三重支部 日刀保京都府支部 日刀保大阪支部

日刀保兵庫支部 姫路しらさぎ刀剣会 日刀保奈良支部

日刀保和歌山支部 日刀保岡山支部 日刀保山口支部

広島県美術刀剣保存協会 日刀保島根支部 島根県美術刀剣保存研究会

日刀保鳥取支部 日刀保香川県支部 日刀保四国讃岐支部

日刀保香川西支部 日刀保愛媛支部 日刀保徳島支部

日刀保高知支部 日刀保北九州支部 日刀保八幡支部 日刀保博多支部

福岡美術刀剣振興会 福岡県文化財保存協会 日刀保筑後支部

日刀保熊本支部 日刀保宮崎支部 日刀保延岡支部 日刀保長崎支部

日刀保佐賀支部 葉隠刀友会 日刀保大分支部 日刀保大分県北支部

日刀保鹿児島支部 薩摩刀栄会 e・刀剣研究会

〈海外5団体〉

ヨーロッパ支部 アメリカ支部 ロシア支部 イタリア支部 台湾支部

(1) 協力団体で開催する鑑賞会へ講師の派遣及び鑑賞刀剣の貸与

1 (2) 鑑賞会事業参照。

(2) 協力団体で開催する鑑賞会へ鑑賞刀剣のみの貸与

令和6年度は17件。

(3) 協力団体で主催する刀剣類の展示会の助成及び共催

長野県南支部「年越し新春刀剣展」我が家の名刀・刀装具」

II 管理部門

1. 会員の状況 26ページ表3の通り。

令和7年4月1日以降の新入会者は116名。

今後とも会員獲得に努めてまいります。

2. 職員に関する事項

職員数計27名 男子18名 女子9名(前期末比プラス1)

平均年齢 男子50歳 女子38歳

3. 役員等に関する事項

(1) 令和6年度第1回理事会

日時 令和6年6月10日(月)午後1時30分から3時00分

議題 1 令和5年度事業報告及び決算(計算書類等及び財産目録)について

2 定時評議員会の招集について

3 規程の改正について

4 常務理事の選定について

(2) 令和6年度定時評議員会

日時 令和6年6月27日(木) 午後1時30分から2時15分

議題 1 令和5年度事業報告及び決算(計算書類等及び財産目録)について

2 評議員の選任について

(3) 令和6年度理事会(定款第44条による理事会)

日時 令和6年7月5日(金)

議題 1 無鑑査の選任について

(4) 令和6年度理事会(定款第44条による理事会)

日時 令和6年11月8日(金)

議題 1 基本財産への繰り入れについて

(5) 令和6年度理事会(定款第44条による理事会)

日時 令和7年1月10日(金)

議題 1 基本財産への繰り入れについて

(6) 令和6年度第2回理事会

日時 令和7年3月28日(金) 午後1時30分から3時00分

議題 1 令和7年度事業計画及び予算(資金調達及び設備投資の見込みを含む)について

2 基本財産への繰り入れについて

Ⅲ その他

3 規程類の改正について

4 令和7年度審査員の選任について

5 現代刀職展運営委員会委員の選任について

6 刀剣博物館資料収集委員会委員の選任について

7 伝位審議会委員の選任について

8 役員賠償責任保険について

(1) 刀剣博物館は令和6年12月25日付で文化庁長官から公開承認施設に承認されました。承認にあたっては、当館施設の設置者、組織、建物及び設備、重要文化財の公開実績について厳しい要件を満たしていることが認められました。

(2) 外部文化団体等からの出陳要請により協会所蔵文化財のほか、玉鋼、砂鉄や、たたら製鉄の工程などのパネルを貸与しました。また各文化団体等からの要請により所蔵文化財等の画像を貸与しました。

(3) 刀剣博物館は海外からの関心も高く、また協会主催の研修会に海外在住者の参加希望もあり、そうしたニーズにできる限り柔軟に対応してまいります。

(4) 当協会は昭和23年に東京国立博物館内において設立され、昭和43年2月に代々木の地に会館を建設して移転しました。約半世紀を経過し、建物の老朽化が激しく、東京都墨田区旧安田庭園内両国公会堂跡地への新築移転計画を進め、墨田区をはじめとする関係各所との協議・検討を経て、平成28年7月に工事着工、平成29年8月に竣工し、刀剣博物館は平成30年1月19日より開館しました。また、墨田区とは移転時から友好関係を構築し、合同企画の実施等連携強化を図っています。

令和6年度事業報告には、定款第11条に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため作成しておりません。

令和7年6月

表 1

展示名	期間	一般	会員	招待	学生	中学生以下	団体他	東京バス利用者	計(人)
第69回重要刀剣等新指定展	4.1～ 4.14※1	2,090	36	73	158	170	15	7	2,549
五ヶ伝と五ヵ国の日本刀	4.27～ 6.16	9,320	151	1,889	894	742	62	24	13,082
第28回特別重要刀剣等新指定展	6.29～ 7.28	3,813	102	179	477	491	45	18	5,125
2024年度現代刀職展 今に伝わるいにしへの技	8.10～ 10.14	9,097	126	391	860	865	240	31	11,610
鑿の技巧 刀身彫刻と刀装具の世界	10.26～ 12.22	8,008	129	410	625	651	50	36	9,909
第70回重要刀剣等新指定展	1.11～ 2.24	6,314	121	307	477	1,383	0	24	8,626
水心子正秀 没後二〇〇年記念 江戸三作〈正秀・直胤・清麿〉	3.8～ 3.31※2	5,961	83	287	926	415	0	20	7,692
合計		44,603	748	3,536	4,417	4,717	412	160	58,593

(うち 外国人23,703人)

※1 会期は令和6年2月23日から令和6年4月14日まで。

※2 会期は令和7年3月8日から令和7年5月11日まで。

表 2

部 門	出品数	特賞	優秀賞	努力賞	入選
作 刀	3 4 点	7 点	4 点	8 点	1 5 点
研 磨	8 5 点	1 0 点	8 点	1 4 点	5 1 点
刀 身 彫	4 点	1 点	2 点	1 点	0 点
彫 金	2 0 点	1 点	3 点	4 点	1 0 点
白 鞘	7 点	1 点	1 点	2 点	3 点
刀 装	6 点	0 点	2 点	2 点	2 点
柄 前	1 4 点	1 点	3 点	1 点	9 点
白 銀	9 点	1 点	0 点	2 点	5 点
合 計	1 7 9 点	2 2 点	2 3 点	3 4 点	9 5 点

研磨の部で2点落選、彫金の部で2点落選、白銀の部で1点落選となりました。

表 3

	国 内					海 外		計
会員種別	普通会員	学生会員	維持会員	優遇会員	終身会員	普通会員	終身会員	
令和7年3月31日	3,310人	20人	3人	4人	65人	262人	15人	3,682人
昨年度比	-105人	+3人	±0人	-1人	+1人	+41人	±0人	-61人

貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当期末	前年度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	583,740,632	478,490,607	105,250,025
未収金	34,707,267	48,239,366	△ 13,532,099
販売用書籍	22,607,473	22,997,466	△ 389,993
製作品	96,128,713	95,028,126	1,100,587
原材料	7,839,698	7,007,594	832,104
前払金	84,484	84,484	0
前払費用	3,871,252	0	3,871,252
流動資産合計	748,979,519	651,847,643	97,131,876
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
建物	873,032,128	893,654,934	△ 20,622,806
預金	357,548,307	357,548,307	0
投資有価証券	198,682,426	198,604,707	77,719
刀剣及び小道具	1,289,650,000	900,450,000	389,200,000
基本財産合計	2,718,912,861	2,350,257,948	368,654,913
(2) 特定資産			
預金	119,476,655	119,476,655	0
退職給付引当資産	41,467,775	41,238,546	229,229
刀剣学奨学積立資産	4,863,763	4,863,763	0
新刀剣博物館建設積立資産	0	2,115,029	△ 2,115,029
資料購入資産	195,000,000	195,000,000	0
建物付属設備改修資産	200,294,667	150,000,000	50,294,667
特定資産合計	561,102,860	512,693,993	48,408,867
(3) その他固定資産			
建物付属設備	4,914,441	5,567,625	△ 653,184
構築物	298,843,924	352,893,555	△ 54,049,631
機械装置	76,798,824	79,994,700	△ 3,195,876
什器備品	3,557,966	4,445,275	△ 887,309
土地	17,972,114	21,071,471	△ 3,099,357
保証金	300,000	300,000	0
刀剣及び小道具	70,000	70,000	0
研修用教材	168,747,824	168,747,824	0
絵画	15,367,000	15,367,000	0
図書及び押型	10,114,118	10,114,118	0
ソフトラウェア	8,960,000	8,960,000	0
その他固定資産	34,345,221	53,956,918	△ 19,611,697
その他固定資産合計	2	328,168	△ 328,166
その他固定資産合計	639,991,434	721,816,654	△ 81,825,220
固定資産合計	3,920,007,155	3,584,768,595	335,238,560
資産合計	4,668,986,674	4,236,616,238	432,370,436
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	65,810,881	74,004,993	△ 8,194,112
前受金	77,695,560	48,920,740	28,774,820
預り金	4,461,581	6,874,719	△ 2,413,138
仮受金	757,700	0	757,700
賞与引当金	11,104,329	8,002,164	3,102,165
未払消費税	9,104,600	6,446,400	2,658,200
流動負債合計	168,934,651	144,249,016	24,685,635
2. 固定負債			
退職給付引当金	41,467,775	41,238,546	229,229
固定負債合計	41,467,775	41,238,546	229,229
負債合計	210,402,426	185,487,562	24,914,864
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
国庫補助金	131,235	217,201	△ 85,966
寄付金	55,528,798	65,773,088	△ 10,244,290
受贈固定資産	569,400,000	180,200,000	389,200,000
指定正味財産合計	625,060,033	246,190,289	378,869,744
(うち基本財産への充当額)	(625,060,033)	(244,075,260)	(380,984,773)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(2,115,029)	(△ 2,115,029)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(3,833,524,215)	(3,804,938,387)	(28,585,828)
(うち特定資産への充当額)	(2,106,260,407)	(2,106,182,688)	(77,719)
(うち特定資産への充当額)	(519,635,085)	(469,340,418)	(50,294,667)
正味財産合計	4,458,584,248	4,051,128,676	407,455,572
負債及び正味財産合計	4,668,986,674	4,236,616,238	432,370,436

正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,522,645	1,684,443	△ 161,798
基本財産利息収益	1,522,645	1,684,443	△ 161,798
特定資産運用益	142,246	3,917,750	△ 3,775,504
特定資産受取利息	142,246	3,917,750	△ 3,775,504
受取会費及び入会金	39,066,520	39,800,960	△ 734,440
会費及び入会金	39,066,520	39,800,960	△ 734,440
事業収益	510,751,826	530,888,180	△ 20,136,354
刀剣博物館入館料収益	46,820,700	51,685,200	△ 4,864,500
保存刀剣等鑑定会受取会費	288,619,100	329,012,800	△ 40,393,700
重要刀剣等指定会受取会費	57,034,400	42,485,300	14,549,100
鑑賞会受取会費	2,817,200	2,611,800	205,400
書籍売上高	15,964,344	16,037,365	△ 73,021
出版売上高	6,699,557	7,463,110	△ 763,553
広告料収益	15,559,500	13,968,900	1,590,600
伝位登録料収益	428,000	352,000	76,000
たたら事業収益	76,809,025	61,369,705	15,439,320
全国大会収益	0	5,902,000	△ 5,902,000
受取補助金等	4,735,966	4,821,946	△ 85,980
受取国庫補助金	4,650,000	4,650,000	0
受取国庫補助金振替額	85,966	171,946	△ 85,980
受取寄付金	10,981,149	9,744,514	1,236,635
一般寄付金	700,000	276,760	423,240
募金箱収益	36,859	122,856	△ 85,997
受取寄付金振替額	10,244,290	9,344,898	899,392
雑収	2,070,803	2,952,346	△ 881,543
受取利息	155,430	3,396	152,034
為替差益	0	5,550	△ 5,550
雑収益	1,915,373	2,943,400	△ 1,028,027
諸引当金戻入	8,002,164	7,722,725	279,439
賞与引当金戻入	8,002,164	7,722,725	279,439
経常収益計	577,273,319	601,532,864	△ 24,259,545
(2) 経常費用			
事業費	519,643,363	543,861,338	△ 24,217,975
役員報酬	3,102,400	3,046,400	56,000
給料手当	135,896,480	136,427,290	△ 530,810
福利厚生費	21,984,132	19,840,130	2,144,002
賃金	24,531,858	26,173,525	△ 1,641,667
旅費交通費	5,980,697	6,111,959	△ 131,262
通信搬費	11,401,073	13,561,583	△ 2,160,510
消耗品費	2,479,951	3,332,146	△ 852,195
印刷製本費	24,039,970	29,421,586	△ 5,381,616
光熱水料費	10,071,229	10,869,123	△ 797,894
修繕費	14,779,822	23,344,238	△ 8,564,416
貸借料	29,024,756	29,746,970	△ 722,214
租税公課	30,384,900	28,394,500	1,990,400
助成費	5,686,000	5,599,200	86,800
支払保険料	3,396,967	3,117,562	279,405
書籍仕入費	11,717,095	11,037,177	679,918
書玉材料費	10,754,606	8,107,294	2,647,312
支払負担金	147,867	136,137	11,730
委託費	51,814,207	46,127,422	5,686,785
広告宣伝費	9,528,296	23,103,388	△ 13,575,092
支払寄付	300,000	300,000	0
渉外費	1,274,887	2,635,788	△ 1,360,901
雑費	6,836,031	4,987,463	1,848,568
減価償却費	100,800,551	103,017,164	△ 2,216,613
退職給付費用	3,709,588	5,423,293	△ 1,713,705

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
管 理 費	29,044,128	30,061,191	△ 1,017,063
役 員 報 酬	3,477,600	3,433,600	44,000
給 料 手 当	2,773,397	2,784,230	△ 10,833
福 利 厚 生 費	1,157,060	1,044,217	112,843
旅 費 交 通 費	2,441,403	2,330,044	111,359
通 信 運 搬 費	600,057	713,767	△ 113,710
消 耗 品 費	215,648	289,752	△ 74,104
光 熱 水 料 費	875,759	945,141	△ 69,382
修 繕 費	1,285,202	2,029,934	△ 744,732
賃 借 料	2,015,588	2,239,019	△ 223,431
支 払 保 険 料	647,041	593,821	53,220
顧 問 料	6,072,000	5,755,200	316,800
支 払 負 担 金	66,433	61,163	5,270
渉 外 費	261,122	539,860	△ 278,738
雑 費	139,511	101,785	37,726
減 価 償 却 費	6,821,065	6,913,634	△ 92,569
退 職 給 付 費	195,242	285,436	△ 90,194
会 議 費	0	588	△ 588
経 常 費 用 計	548,687,491	573,922,529	△ 25,235,038
当 期 経 常 増 減 額	28,585,828	27,610,335	975,493
2. 経 常 外 増 減 の 部			
(1) 経 常 外 収 益			
固 定 資 産 受 贈 益	0	300,000	△ 300,000
経 常 外 収 益 計	0	300,000	△ 300,000
(2) 経 常 外 費 用			
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	300,000	△ 300,000
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	28,585,828	27,910,335	675,493
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	3,804,938,387	3,777,028,052	27,910,335
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	3,833,524,215	3,804,938,387	28,585,828
Ⅱ 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
固 定 資 産 受 贈 益	389,200,000	27,400,000	361,800,000
一 般 正 味 財 産 振 替	△ 10,330,256	△ 9,516,844	△ 813,412
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	378,869,744	17,883,156	360,986,588
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	246,190,289	228,307,133	17,883,156
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	625,060,033	246,190,289	378,869,744
Ⅲ 正 味 財 産 期 末 残 高	4,458,584,248	4,051,128,676	407,455,572

財 産 目 録

令和7年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金		運転資金として	20,022,523
	普通預金			
		みずほ銀行 新宿新都心支店	運転資金として	369,766,530
		三井住友信託銀行 新宿支店	運転資金として	234,249
		東京東信用金庫 両国支店	運転資金として	87,120,565
		荘内銀行 東京支店	運転資金として	909
		大和ネクスト銀行	運転資金として	413
	郵便貯金			
		代々木郵便局振替口座	運転資金として	106,595,443
	未収金			34,707,267
			審査事業における審査料	(30,695,570)
			広告料	(1,839,200)
		(株)リクルートペイメント	商品売上 クレジット利用分	(495,672)
		(株)Square	審査料 クレジット利用分	(1,301,800)
		ローソンエンタテイメント	博物館入館料	(187,500)
		(株)ホビージャパン、NHK	画像使用料	(39,600)
		八洋他	自販機手数料他	(147,925)
	前払金	N T T 東日本	通話料金の前払い分	84,484
	前払費用	あいおいニッセイ同和損害保険	奥出雲保険料(R7年4月～R11年9月)	3,871,252
	販売用書籍	「入札鑑定同然帳」他	出版書籍の在庫である。	22,607,473
	製品	島根県仁多郡奥出雲町	玉鋼の在庫である。	96,128,713
	原材料	島根県仁多郡奥出雲町	玉鋼の材料の在庫である。	7,839,698
流 動 資 産 合 計				748,979,519
(固定資産)	基本財産			
	建物	東京都墨田区横網1-12-9	(供用財産) うち、公益目的保有財産92% うち、管理目的の財源として使用する財産8%	873,032,128
	普通預金	荘内銀行 東京支店		100,000,000
		三井住友信託銀行新宿支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	238,306,198
	定期預金	東京東信用金庫両国支店		19,242,109
	投資有価証券	第177回国債(20年) 第181回国債(20年)		99,624,937 99,057,489
	刀剣及び小道具	日本刀 他	公益目的保有財産であり、協会の事業の用に供している不可欠特定財産である。	1,289,650,000
基 本 財 産 合 計				2,718,912,861

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
特定資産	預金	普通預金みずほ銀行新宿新都心支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	109,476,655
		定期預金三井住友信託銀行新宿支店		10,000,000
	退職給付引当資産	普通預金みずほ銀行新宿新都心支店	職員11名に対する退職金の支払いに備えた積立資産である。	21,467,775
		定期預金東京東信用金庫両国支店		20,000,000
	刀剣学奨学積立資産	定期預金荘内銀行東京支店	刀剣類の優れた研究者の育成及び助成を目的とする積立資産である。	4,863,763
	新刀剣博物館建設資産	普通預金みずほ銀行新宿新都心支店	刀剣博物館建設事業の寄付金である。	0
	資料購入資産	定期預金東京東信用金庫両国支店	博物館での展示、鑑賞会、研究その他に活用する資料を取得するための資産である。	195,000,000
	建物付属設備改修資産	普通預金三菱UFJ銀行本所支店	建物付属設備の再調達資金の積立である。	150,000,000
		第169回国債（5年）		50,294,667
	特 定 資 産 合 計			561,102,860
その他の固定資産	建物	島根県仁多郡奥出雲町	(供用財産) うち、公益目的保有財産99.4% うち、管理目的の財源として使用する財産0.6%	4,914,441
	建物付属設備	東京都墨田区横網1-12-9		298,843,924
	構築物	東京都墨田区横網1-12-9	(供用財産) うち、公益目的保有財産94% うち、管理目的の財源として使用する財産6%	76,798,824
	機械装置	島根県仁多郡奥出雲町 東京都墨田区横網1-12-9	(供用財産) うち、公益目的保有財産92% うち、管理目的の財源として使用する財産8%	3,557,966
	什器備品	東京都墨田区横網1-12-9	公益目的保有財産である。	17,972,114
	その他固定資産	東京都墨田区横網1-12-9	(供用財産) うち、公益目的保有財産92% うち、管理目的の財源として使用する財産8%	2
	土地	長野県上田市		300,000
	保証金	(株)セコム	セキュリティシステム等の保証金として預けているものである。	70,000
	刀剣及び小道具	東京都墨田区横網1-12-9 日本刀 他	公益目的保有財産である。	168,747,824
	研修用教材	東京都墨田区横網1-12-9 刀剣及び小道具	公益目的保有財産である。	15,367,000
	絵画	東京都墨田区横網1-12-9 日本画 他	公益目的保有財産である。	10,114,118
	図書及び押型	東京都墨田区横網1-12-9 網屋押型 他	公益目的保有財産である。	8,960,000
	ソフトウェア	東京都墨田区横網1-12-9	(供用財産) うち、公益目的保有財産95% うち、管理目的の財源として使用する財産5%	34,345,221
		そ の 他 固 定 資 産 合 計		
固 定 資 産 合 計				3,920,007,155
資 産 合 計				4,668,986,674

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)	未払金	(株) 目の眼 他	博物館事業における書籍等仕入、委託費等	65,810,881
	未払消費税	本所税務署	消費税確定	9,104,600
	前受金	個人会員 他	公益目的事業及び管理目的の業務に使用する会費等	77,695,560
	預り金	職員他	社会保険料	4,461,581
			源泉所得税	(1,181,987)
			住民税	(577,032)
			鑑賞会費用等	(375,400)
			能登半島地震義援金	(968,686)
		支部他		(1,358,476)
		支部		
	仮受金		入金内容確認のための一時仮受	757,700
	賞与引当金	職員	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員の賞与の引当金である。	11,104,329
流 動 負 債 合 計				168,934,651
(固定負債)	退職給付引当金	職員	職員11名に対する退職金の支払いに備えたものである。	41,467,775
固 定 負 債 合 計				41,467,775
負 債 合 計				210,402,426
正 味 財 産				4,458,584,248

監 査 報 告 書

公益財団法人 日本美術刀剣保存協会
会 長 酒 井 忠 久 殿

令和7年6月2日

公益財団法人 日本美術刀剣保存協会

監 事 大久保 洋吉

公益財団法人 日本美術刀剣保存協会

監 事 戸澤 重俊

公益財団法人日本美術刀剣保存協会における令和6年4月1日から令和7年3月31日までの監査の方法及び結果について、次のとおり報告いたします

1. 監査の方法及びその内容

監事は、理事会などの会議に出席し、理事及び担当者からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告等及び会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、計算書類（貸借対照表・正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について監査いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 1) 事業報告は、法令及び公益財団法人日本美術刀剣保存協会定款に従い、法人の状況を正しく表示しているものと認めます。
- 2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは公益財団法人日本美術刀剣保存協会定款に違反する事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を正確に示しているものと認めます。

以上